
TSP ~探偵スクール~

探偵 x

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

TSP ～探偵スクール～

【Nコード】

N5381Z

【作者名】

探偵x

【あらすじ】

主人公・半田誠はお父さんを自分の目の前で殺された。その日以来一刻も早く犯人捕まえるために探偵スクールに入り、その仲間と協力しながら事件を解いていく！！
笑いあり恋愛ありのミステリー小説。

花園学園の真実（前書き）

この作品は、前編と後編に分けて作ってあります。
もし、この作品を読まれた方は、後編を楽しみにしていたださい。
よろしくお願ひします。

花園学園の真実

この世は、犯罪で満たされている。

俺（半田誠）は、この世の中が嫌いだ・・・お父さんを殺したこの世の中が・・・

「まーこーとー起きなさいよ!!」

『なんだようるせえなー』

「何よ!!せつかく謎のXからメールが来たこと教えに来たのに・・・誠がそんな態度なら私帰ろっかなあ〜」

『ちよつと待ったあー』説明しよう・・・謎のXとは、俺こと半田誠とこのうるさいババアこと篠原美鈴とその他3人が通っている探偵学校!!その名も、探偵スクール!!その校長的なのが謎のXというをわけなのさ!!しかし俺たちは、謎のXの本名も顔も知らないのである。皆さん僕の説明わかりやすかったかな??

「誠さつきから誰としゃべってんの??」

『ええ!!1人事!1人事』

「あつそ。」

『美鈴!とここで謎のXから何てきたんだよ』

「東京都私立花園学園に殺人事件発生!ただちに向かえ。だってさ」

『なるほど!!とれあえず校長の命令だし行くか!』

「うん!」

こうして俺と美鈴は、殺害現場の花園学園へと向かった!!

【花園学園】

「ここが花園学園なの!!ちよーきれいじゃん」

『美鈴!!そんな事言ってる場合か』

「ごめんなさい」

おまえらおせーぞ。

『ごめんガン多』ここで説明time!! 皆さんもお気づきのとうり・この28歳の男こそ僕たちと同じ探偵スクールに通っている原田ガン多君なのだ!!

誠どうしたんだよ??

「今日ずっとあんな感じなの・ひとりでブツブツ言っ、ああ〜キモ」

そうなのか!! どうしちまったんだろな誠・

「あんな奴ほつとこ。」

そうだな!

『おい! お前から何話してんだよ。』

「なんでも無い。」

『何でも無いってなんだよ! 教えるよ・』

「ガン多事件の内容を教えて。」

『俺の話は無視かよ!』

「今は、そんな事言ってる場合??」

『ちえー話変えやがって・』

「なんか言った??」

『別に』

「ふん!! で、どうなのガン多!」

うん! 殺されたのは、花園学園1年B組の白石みず穂さん・部室で倒れて居るところを顧問である風間晴之が発見したそうだ!!

『倒れていただけで何で殺害ってわかんだよ・』

それは・現場に行ったらわかる!

「じゃあ、取れあえず言ってみましょう。」

『うん!』

こうして俺・美鈴・ガン多は、白石みず穂が倒れていたという部室に向かった・

【部室】

ここが殺害現場だ!

「何よこれ!!!」

そこには、部室全体にスプレーのようなもので白石みず穂死ね。と書いてあった!!

「なんだよありえねえ〜」

後、これお見る。

なんとそこには・・みず穂さんの血こんがと凶器のような物が落ちていた、だがその凶器からは指紋は検出されなかった。

これで、殺人事件だってわかっただろ。

「ああ〜。」

「でも、こんなことするなんてヒドイ」

「犯罪ってそんなものだろ・・。」

そうだ。犯罪は、とても残酷なものだ・・そう。俺が4歳のとき、父さんは俺の前で殺された、その時の犯人の顔は一生わすれねえ!。なんとしても俺の手であいつを捕まえたい。そのためにも探偵として頑張らないといけないんだ!父さんのためにも。

「誠・・どうかしたの?？」

「いや!何にもない。」

「あっそう!」

「ところでガン多、竜とヒナは?？」ここで本日3度目の説明time・・竜とヒナとは、俺たちと同じ探偵スクールに通っている奴らだ!その中でも、竜は頭が良い!ヒナは運動神経バツグンで俺的に陸上選手になったほうがいいんじゃないか?っというぐらい足が速い!!!

おい!誠聞いているか?

「あつ!ごめん何て?」

ほんとに大丈夫かよ?熱でもあんじゃねえ〜

「大丈夫だって!そんで竜たちは?」

誠が大丈夫っていうならいいか!! で、竜たちはまだきてねえみたいだ。

「おせーな! まあ。俺たちで先に調べとくか。」

そうだな!

『あつ！美鈴は、どこ行つたんだよ？』

「私ならここにいますけど！」

『わあ！！ビックリした。』

「そんなに驚かなくても」

『驚くだる普通・・・それで今から第一発見者の風間晴之に会いに行くぞ！』

「私がとつくに行つたわよ！」

まじかよ！！はえな。

「あんたたちの話が長いのよー」

『ごめんごめん・・・そんで何て言つてたんだ？？』

「どうしてあの子が・・・って泣いていたわ。」

他には、なんか言つてなかったか？？

「風間に聞いたわけじゃないんだけど・・・白石みず穂は、皆から嫌われてたらしいの！！」

『どうゆうことだよ』

「白石みず穂は、部活で先輩達や自分が嫌いな人をいじめてたんだつて！しかも、ほとんどの同級生が被害にあつてるらしいわ！」

なるほど・・・殺されるどときはいくらでもあるつてか！

『となると・・・白石みず穂を恨んでる奴の仕業に間違いないな！』

「じゃあ・・・白石みず穂にいじめを受けたことのある生徒つてことになるわね」

？そつでもないんじゃないか・・・？

『竜、いつに間に！！てかそれはどうゆうことだよ』

？白石みず穂と顧問の風間晴之は付き合つてたんだ！？

「なんですつて！でも、白石みず穂は、同じクラスの寺石敦と付き合つていたのよ」

？俺の推測だけど・・・もし白石みず穂が2股していたとしたら。？
『なるほど！！それお知つた風間晴之か寺田敦が白石みず穂を殺したつてことか！』

？あるいは、その2人が協力して殺したかだ！？

「そうかもね」

> そうと決まればさっそくその2人を調査だー<

「『うわぁー』」

「ヒナいつの間に!!」

> 今さっききたばっかだよ。<

お前はいつも遅すぎんだよ!!

> ガン多ごめんなさい・・・<

まぁいい!! 早くいくぞ!

> はーい<

こうして俺たちは白石みず穂と付き合っていた、第一発見者の風間晴之とまた同時に付き合っていた寺田敦について調べることにした!! 絶対犯人をあばいてやる!!

花園学園の真実（後書き）

どうでしたか?? 評価をお願いします。

次回は・・・ついにこの事件の真相が明らかになります。

是非、次回も読んでください。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5381z/>

TSP ~探偵スクール~

2011年12月18日02時53分発行